

2025年9月10日

「テーマ館展示実施製作統括管理業務委託（その１）」

テーマ館展示実施製作統括管理業務委託（その１）について、公募型プロポーザル方式で受託候補者を特定し、次のとおり契約しました。

- | | | |
|---|--------|--|
| 1 | 件名 | テーマ館展示実施製作統括管理業務委託（その1） |
| 2 | 委託内容 | |
| | (1) | 展示制作 |
| | (2) | 運営計画作成 |
| | (3) | 広報活動支援 |
| | (4) | 協賛獲得支援 |
| 3 | 契約の相手方 | テーマ館展示実施製作統括管理業務共同企業体
(代表企業) 株式会社NHKプロモーション |
| 4 | 契約金額 | 168,982,000円 |
| 5 | 契約日 | 2025年7月10日 |
| 6 | 評価結果 | |

提案者	評価点数	順位
テーマ館展示実施製作統括管理業務共同企業体	586	1

委員会開催日時	2025年 6 月 18 日（水） 14時50分～16時20分
委員会開催場所	公益社団法人 2 0 2 7 年国際園芸博覧会協会 事務局会議室
評価委員の出席状況	評価委員 5 名中 4 名出席
事務局	公益社団法人 2 0 2 7 年国際園芸博覧会協会 展示課
議事内容	・ プロポーザル評価委員会までの経緯について ・ 受託候補者の特定について ・ 今後のスケジュールについて
評価基準	別紙のとおり

担当：展示課 松中、大島 TEL：045-307-2084

テーマ館展示実施製作統括管理業務委託（その１）
のプロポーザルに係る提案書評価基準

表１の評価項目及び配点ウェイトのもと、評価を行います。

各評価項目の評価の視点は表２のとおりとします。

表１ 基本的事項

評価項目 (配点)	評価の着目点		配点	評価	評価点
業務実績 (40 点)	管理技術者	同種又は類似の業務の実績の内容	20		
	担当技術者	同種又は類似の業務の実績の内容	20		
提案内容 (60 点)	提案内容の①から③について、2027 年度の事業完了までを見据えた上で事業目的を達成するための提案をしてください。				
	① 協会が提示する実施設計を理解し、展示制作が円滑かつ効率的に進められるよう、製作物及び映像制作業務の実施方針、推進体制、業務全体の進め方及びコスト縮減策について、明確で適切な提案となっているか。		20		
	② 多数の来館者に最適なサービスが提供可能となるよう、会場全体の運営（警備、来場者サービス等）との調整方針が過去の実績・経験を踏まえた提案となっているか。		20		
	③ これまで協会が行ってきた広報活動を踏まえ、テーマ館の広報活動を進めていく上での課題を示すとともに、その対応策を提案となっているか。		20		
ヒアリング (60 点)	理解力や専門技術力があるか		30		
	取り組み意欲が感じられるか		30		
ワーク・ライフ・バランスに関する取組等(6 点)	次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員 101 人未満の場合のみ加算）		1		
	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員 101 人未満の場合のみ加算）		1		
	次世代育成支援対策推進法に基づく認定（くるみんマーク）の取得、又は女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定（えるぼしマーク）の取得		1		
	青少年の雇用の促進等に関する法律に基づくユースエール認定の取得		1		
	障害者雇用促進法に基づく法定雇用率 2.5%を達成している（従業員 40.0 人以上）、又は障害者を 1 人以上雇用している（従業員 40.0 人未満）		1		
	健康経営銘柄、健康経営優良法人（大規模法人・中小規模法人）の取得		1		
業務遂行能力 (15点)	事業経費の積算は妥当で、費用対効果が高いものとなっているか。		15		
評価点の合計（181 点）					

評価方法

- (1) 業務実績及び業務遂行能力は、A、C、Eの3段階評価を行う。
- (2) 提案内容及びヒアリングは、A、B、C、D、Eの5段階評価を行う。
- (3) 評価点については、次のように配点を行う。
 - ア 業務実績の各項目
配点 20 点 A = 20 点、C = 12 点、E = 4 点
 - イ 提案内容及びヒアリング
配点 20 点 A = 20 点、B = 16 点、C = 12 点、D = 8 点、E = 4 点
配点 30 点 A = 30 点、B = 24 点、C = 18 点、D = 12 点、E = 6 点
 - ウ 業務遂行能力
配点 15 点 A = 15 点、C = 9 点、E = 3 点
- (4) ワーク・ライフ・バランスに関する取組等は、各項目を1つ満たすごとに1点を加算する。
- (5) 提案内容とヒアリングの評価項目において、D、E評価のあるものは原則として選定しない。
- (6) 評価点について最上位の者が2人以上同点となった場合には、評価委員会にて採択を行い、最上位を決定する。
- (7) 業務実績、ワーク・ライフ・バランス及び業務遂行能力に関する取組等は、1者ごとに事務局が評価を行い、評価委員会で承認を行う。
- (8) 提案内容及びヒアリングは、1者ごとに各評価委員が評価を行う。
- (9) 業務実績、提案内容、ヒアリング及びワーク・ライフ・バランスに関する取組等の評価点の合計を評価委員全員分集計し、その合計点を当該提案者の評価結果とする。
- (10) 評価点は、評価委員1名につき満点で181点とし、評価委員全員の合計で181点×5名＝905点で満点とする。
- (11) 共同企業体を組成する場合、業務実績は、1者以上の構成員が条件に当てはまることで、該当していることとする。
- (12) 共同企業体を組成する場合、ワーク・ライフ・バランスに関する取組等は、代表者たる構成員が条件に当てはまることで、該当していることとする。
- (13) 評価委員が欠席した際、その委員の評価点は無効とし、委員会に出席した委員のみで評価を行う。
- (14) ヒアリングを実施しなかった場合、ヒアリングに関する評価はC（30点×3/5＝18点）とする。
- (15) 業務遂行能力の評価に関しては、提案された見積金額を業務実績、提案内容、ヒアリング、ワーク・ライフ・バランスに関する取組等の点数の合計点で除した数値を1点あたりの費用金額とし、これが少ないものをより優れているものとする。
見積金額÷（業務実績、提案内容、ヒアリング、ワーク・ライフ・バランスに関する取組等の合計点）
＝1点あたりの費用金額

表2 評価の視点

評価項目	評価の着目点		A	B	C	D	E
業務実績	管理技術者	同種又は類似の業務の実績は十分か	国際博覧会、オリパラ等の国際的なイベントにおける展示業務又は運営業務の実績を有する		地方博覧会や国内大規模イベント等における展示業務又は運営業務の実績を有する		A又はCに該当しない
	担当技術者	同種又は類似の業務の実績は十分か	国際博覧会、オリパラ等の国際的なイベントにおける展示業務又は運営業務の実績を有する		地方博覧会や国内大規模イベント等における展示業務又は運営業務の実績を有する		A又はCに該当しない
提案内容	① 協会が提示する実施設計を理解し、展示制作が円滑かつ効率的に進められるよう、製作物及び映像制作業務の実施方針、推進体制、業務全体の進め方及びコスト縮減策について、明確で適切な提案となっているか。		十分な理解に基づいた明確で適切な提案である	一定程度の理解に基づいた明確な提案である	どちらともいえない	理解がやや乏しい提案で、妥当性に欠ける	理解が乏しく、妥当ではない
	② 多数の来館者に最適なサービスが提供可能となるよう、会場全体の運営（警備、来場者サービス等）との調整方針が過去の実績・経験を踏まえた提案となっているか。		十分な理解に基づいた明確で適切な提案である	一定程度の理解に基づいた明確な提案である	どちらともいえない	理解がやや乏しい提案で、妥当性に欠ける	理解が乏しく、妥当ではない
	③ これまで協会が行ってきた広報活動を踏まえ、テーマ館の広報活動を進めていく上での課題を示すとともに、その対応策を提案となっているか。		正確で合理的な提案である	一定程度、正確で合理的な提案である	どちらともいえない	やや正確性及び合理性を欠く提案である	正確性及び合理性を欠く提案である

評価項目	評価の着目点	A	B	C	D	E
ヒアリング	理解力や専門技術力があるか	特に優れている	優れている	どちらともいえない	あまり妥当ではない	妥当ではない
	取り組み意欲が感じられるか	強い意欲が認められる	意欲が認められる	どちらともいえない	あまり意欲が認められない	意欲が認められない
業務遂行能力	1点あたりの費用金額	業務遂行の費用効果が1番目に高いもの		業務遂行の費用効果が2番目に高いもの		業務遂行の費用効果が3番目以下のもの